

訂正表

主な薬理作用と引用文献一覧

生薬	主な薬理作用	試験系	引用文献	修正点
ウイキョウ (茴香)	腸管蠕動運動調整作用	マウス, <i>in vitro</i>	萩庭丈寿・他. 薬学雑誌. 1962, 83, p.624.	1962 → 1963
ゴマ (胡麻)	脂肪酸代謝促進・血清脂質低下作用	ラット	井手隆. 食品総合研究所研究ニュース. 2001, 1, p.7.	P.7 → p.6
サンヤク (山薬)	血糖降下作用	マウス	Hikino, M. et al. Plant a Med. 1986, 3, p.168.	Hikino, M → Hikino, H 3 → 53
ショウキョウ (生姜 乾生姜)	鎮吐作用	スunks	Yamahara, J. et al. J. Ethnopharmacol. 1992, 27, p.353.	1992 → 1989
	健胃作用	ラット	Yoshikawa, M. et al. Chem. Pharm. Bull. 1988, 42, p.1226.	1988 → 1994
ソボク (蘇木)	抗炎症作用	<i>in vitro</i>	Hu, C. M. et al. J. Ethnopharmacol. 2009, 121, p.9.	p.9 → p.79
チャヨウ (茶葉 細茶)	抗酸化作用	ラット	Sano, M. et al. Biol. Pharm. Bull. 1998, 18, p.1006.	1998 → 1995
チンピ (陳皮)	気管支筋弛緩作用	<i>in vitro</i>	木下武司・他. 生薬学雑誌. 1980, 33, p.146.	1980 → 1979
ニンジン (人參)	副腎皮質ホルモン様作用	ラット	谷津久之・他. 薬学雑誌. 1981, 101, p.169.	谷津久之 → 谷澤久之
ブシ (加工ブシ)	腎機能改善作用	ラット	横津隆子・他. 和漢医薬学会誌. 1989, 6, p.64; 1989, 6, p.458.	横津隆子 → 横澤隆子
ヨクイニン (薏苡仁)	抗炎症作用	<i>in vitro</i>	丹羽鞆良・他. 皮膚科紀要. 1986, 81, p.321.	丹羽鞆良 → 丹羽鞆負